

市政だより

ひたちなか市魚食の普及推進に関する条例制定

水産振興と水産物の消費拡大を推進

賑うひたちなか市の漁港



「魚食普及推進の日」をPR



北原 祐二
ひたちなか市議会
(日立AMS/佐和分会)

ひたちなか市は、平成28年3月定例会において議員提案した『ひたちなか市魚食の普及推進に関する条例』を制定しました（4月1日施行）。

この条例は、ひたちなか市が太平洋に面した2つの漁港を有し、多彩な魚介類の水揚げがされており、また、日本を代表するタコの加工産地であることから、水産振興と水産物の消費拡大を推進することで観光の振興や地域経済の活性化を図ることを目的としています。さらに、本市のもつ優れた伝統漁法と加工技術、魚食文化を生かした水産振興は、次の世代への財産であり、市民への魚食や食育の普及推進を通して、

日本の伝統的な食文化への周知や理解の促進、市民の健康づくり、食育の推進に寄与するものです。

今後、毎年8月8日を『タコの日』、毎年10月10日を『とと（魚）の日』、毎月10日を『魚食普及推進の日』と定め、関係機関と協力し魚食推進の日を中心に様々なPR活動に取り組みます。

日新クラブは、季節によって様々な魚介類の水揚げがされる地元の食材と魚食の素晴らしさを伝えるとともに、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりに努めています。



日立グループ議員団幹事長
栃木市議会（日立AP労組/栃木支部）

千葉 正弘

浅野さとしに
バトンタッチ!!
矢田わか子の勢いを

総会で会費の値上げ実施を確認

7月に実施された参議院議員選挙では、比例区において電機連合公認の「矢田わか子」氏が立派な成績で当選を果たしました。しかし、選挙区を含めた参院選全体の総括としては、厳しい結果でありました。関係する皆様方のご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

日立グループ議員団会議は、7月14日に総会を開催致しました。今回の総会に、藤原常義島根県議会議員が準会員としては、初めての参加となりました。現在の会員数は33人です。

総会において1年間の活動を総括し、次年度の活動方針を審議、決定しました。活動の基本となる財政については、幹事会を中心に概ね1年間議論・検討を重ね、本総会において会費の値上げをお願いしご理解をいただきました。節約に心がけながら活動を進めていきたいと考えます。

次期衆院選「浅野さとし」当選に向け万全の準備にご協力を

さて、次の選挙への備えについて述べたいと思います。最大の課題は、次期衆議院議員選挙への対応であります。参院選の時にはダブル選挙の可能性もあったことから、大島章衆議院議員の後任として、茨城5区に挑戦をする「浅野さとし」氏にとっては、準備は一定程度進んでいると思います。しかし、浅野氏は新人であります。知名度を広める活動を地道に進めるしかありません。矢田わか子の勢いを浅野さとしにバトンタッチ出来るよう、引き続きのご支援をお願い致します。

また、私たち仲間の選挙も今期中に予定がされています。万全を期していきたいと考えますので、関係する皆様方のご支援をお願い申し上げます。

今号の読みどころ

議員団レポート…（安来市議会、東海村議会、日立市議会、秦野市議会、ひたちなか市議会）
幹事長の主張…矢田わか子の勢いを浅野さとしにバトンタッチ!!
大島衆議院議員・国政レポート…参議院議員選挙へのご支援に感謝

P 2~4

P 4

大島衆議院議員・国政レポート

次の総選挙では再び政権交代をめざす

日立グループ連合の皆さん、議員団の皆さん、日頃のご支援とご協力に感謝申し上げます。また、この度の日本国の未来を左右する参議院議員選挙では、皆さんの絶大なご支援とご協力を賜りましてありがとうございました。その結果、電機連合公認の矢田わか子候補も「215,823票」という大変立派な成績で当選することが出来ました。心からご支援をいただきましたすべての皆さんに御礼申し上げます。

代表選挙で「新たな民進党」をめざす

さて、9月15日投票で民進党代表選挙が行なわれることになりました。2014年12月から今日まで岡田代表は前民主党、そして民進党の先頭に立ち、国民のために全力で活動を展開していただきました。これまでの1年半にわたる活動に心から敬意を表します。

これまでの間、安倍政権は、「アベノミクス」を前面に掲げながら、社会格差を拡大し、特定秘密保護法や派遣労働改悪法、そして憲法違反の安保関連法の強行採決など暴走を続けました。そして、今回の参議院議員選挙は日本国の平和主義路線を堅持出来るかどうかを問う重要な選挙でありましたが、大変残念ながら、改選勢力は憲法改正に必要な3分の2を占めるという結果となりました。

今回の民進党代表選挙では、参議院議員選挙結果、及び東京都知事選挙結果などを踏まえて、国民の期待に応える「新たな民進党」を建設しなければなりません。そのためにも民進党は、

すべての働く仲間の皆さん、国民の皆さんの立場に立ち、「安心して働き、安心して暮らせる社会」を実現するため、めざす社会ビジョンを明らかにして、闘う態勢を整えなければなりません。従って、堂々とした代表選挙を全国展開し、党员サポーターの皆さんにご参加をいただき、新しい党代表を決定しなければなりません。そして次の総選挙では、再び政権交代をめざして、安倍政権と対決致します。

後継「浅野さとし」へのご支援を

現在、世界はシリア問題をはじめアメリカの大統領選挙や中国・ロシア国などの動きも重なり、流動的な情勢となっています。また、日本においても、小泉政権・安倍政権の誕生で「一億総競争社会」となり、格差社会も広がり、ギクシャクとした事件も多発傾向にあります。これからの日本はどうあるべきか、新しい秩序ある社会を模索しなければなりません。次期総選挙では、歴史ある「茨城県第5区」から、私の後継者として、33歳の「浅野さとし」さんが挑戦します。皆さんの絶大なご支援とご協力をよろしくお願い致します。



日立市内で国政報告会を開催

参議院議員選挙へのご支援に感謝

日立グループ議員団会長
衆議院議員
大島 章宏

議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員の活動をご紹介します

市政だより

安来のシンボル月山富田城整備計画

日本五大山城の1つにも選定

5年をかけて史跡公園など整備



観光資源として期待される



田淵 秀喜
安来市議会
(日立金属/安来支部)

富田城跡概要

富田城跡は、標高約190mの月山を中心に1km四方の丘陵上に築かれた広大な山城です。周囲は急峻な斜面が多く、守りやすく攻め難(がた)い地形のため、大内氏、毛利氏の2度にわたる大軍に攻められても、力攻めでは落城しなかった難攻不落(なんこうふらく)の山城です。

この富田城を居城とした戦国大名尼子(あまご)氏は、京極氏の守護代(しゅごだい)として台頭し、16世紀前半に出雲国内だけでなく他国に侵攻を始め、一時は中国地方東部及び播磨国まで勢力を及ぼしました。尼子氏滅亡後は、毛利氏、吉川(きっかわ)氏が在城し、堀尾氏が江戸時代初頭に居城を松江城に移すまで、富田城は領国支配の拠点として機能し

てきました。

昭和9年に国の史跡指定を受けたのをはじめ、日本100名城、日本五大山城にも選定されている島根県を代表する山城です。

全体計画概要

この史跡富田城跡を地域のシンボルとして、観光資源あるいは生涯学習の場として広く活用出来るよう、平成26年度に整備計画を策定し、今年度から概ね5カ年で史跡公園整備を計画し、眺望確保、城跡のシンボルである石垣の整備、散策園路整備、ガイダンス施設としての歴史資料館の改修等を計画しています。

戦国の名城月山富田城にぜひお越し下さい。

「いきいき茨城ゆめ国体」の開催に向けて

村政だより



越智 辰哉
東海村議会
(日立/日立支部)

ホッケー競技会場の人工芝化を進める

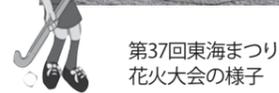
平成31年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」。茨城県をはじめ県内各自治体では国体開催に向けた様々な準備が進められています。

東海村は、ホッケーの競技会場として選定されたことから、会場となる阿漕ヶ浦公園内にある既存のホッケー場(約13,000㎡)を現在の天然芝から人工芝へ改修する工事を平成28年9月から実施します。また、公園内の敷地を有効活用して新たな交流広場の整備や、アクセス道路である国道245号線からの進入路の歩道拡幅工事なども順次実施する予定です。

この公園は、春には約200本のソメイヨシノが咲き誇る東海



人口芝化を進める
阿漕ヶ浦公園の
ホッケー場



第37回東海まつり
花火大会の様子



村の桜の名所となっており、また夏には近隣からも大勢の来場者で賑わう花火大会が実施されている場所でもあります。現在は、上述の国道245号線の拡幅工事も並行して進められていることから、国体開催を契機として引続き、多くの方々に足を運んでいただけるスポットとなるよう、周辺環境の整備推進に力を注いでいきます。

住政策推進を強化

市政だより



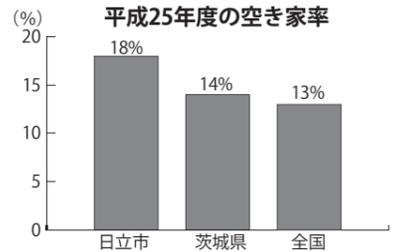
白石 敦
日立市議会
(HILCS)

空き家等の適正管理と子育て世代の住み替え施策に取り組む

日立市では、市内の適正な管理が行なわれていない空き家や再利用が可能な中古住宅等について、本年度より地域創生を目的に、住政策推進を重点事業として進めています。

その中の空き家等適正管理推進事業については、本市の空き家率が18%と、全国や茨城県と比べて高い比率となっているため、現在、市内の空き家と思われる約5,300件の実態調査を行っており、年末までに空き家管理条例の制定や空き家情報をデータベース化する準備を進めています。

また、山側住宅団地住み替え検討事業については、市内に16カ所ある山側住宅団地が、高齢化の進展に伴う転居などにより空き家が目立ち始めているため、広い居住面積や庭を希望する若者・子育て世代の住み替え施策を検討し、活性化を図るものです。



再活用可能な中古住宅

現在は、山側住宅団地の人口動態や空き家、空き地の実態調査と子育て世代のニーズ調査を行っており、本年度中に活用促進策をまとめる予定です。

成熟した本市の住宅事情や少子高齢化の社会情勢を考えると、空き家等の中古住宅の活用は避けて通れない課題であり、民主クラブとしては全国に先駆けた再活用のモデル地域となるよう、市政への意見反映に努めてまいります。

市政だより

スマートインターチェンジ設置

都市(まち)の再活性化を促進



秦野市を通過する「新東名高速道路」は、平成32年度中の完成を予定しており、この新東名高速道路に秦野サービスエリア(仮称)の設置が計画されています。秦野市では、数年前よりサービスエリアへのスマートインターチェンジの設置を、市を挙げて国土交通省に働きかけを行ってきました。

その結果、昨年6月に上下線とも全長12m以下の車両が乗り降り可能なスマートインターチェンジの設置が決定しました。スマートインターチェンジとは、ETCを搭載した車両が24時間通行可能なゲートです。



羽根トンネル工事視察



八尋 伸二
秦野市議会
(日立/神奈川県西支部)

秦野市では、産業や観光を再活性化させるチャンスと捉え、スマートインターチェンジから主要道路までの接続道路整備費約4億円を負担して道路整備を行ない、既存の工業団地へのアクセス向上による産業基盤の強化、観光資源を活用した地域活性化、地域防災力の強化、東海大学病院までの搬送時間短縮による救急・救命サービスの向上などを行なう予定です。

現在、超少子高齢化社会の到来により、県内での都市間競争も激化しています。このスマートインターチェンジを活かしたまちづくりが、競争を勝ち抜く鍵となりそうです。